

対応 OS

Windows 98、Windows 98SE、
Windows 2000、Windows ME
の日本語版

* Macintosh には対応していません。

PC リンクキット

CD-PC1

取扱説明書

Pioneer

目次 7ページ

ソフトウェア使用許諾契約書

この度は、バイオニア株式会社（以下「弊社」といいます）の製品をお求め頂きましてありがとうございます。このソフトウェア製品をご使用頂く前に、この契約書を慎重にお読み下さい。お客様は、このソフトウェア製品を使用することによって、この契約書の条項に拘束されることを承諾されたものとします。

製品名：「PCリンクキット CD-PC1」

契約条項

第1条（定義）

「本ソフトウェア」とは、本製品に同梱されたCD-ROMディスクに収録の、弊社開発によるコンピュータ・ソフトウェアをいいます。

第2条（適用範囲）

この契約書は、本ソフトウェアを対象として適用されるものとします。

第3条（使用許諾）

弊社は、お客様がこの契約書の条項に従い、本ソフトウェアを1台のコンピュータ端末上においてのみ使用することのできる、非独占的かつ譲渡不能な権利を許諾します。

第4条（保証）

- お客様が通常の方法で使用された場合に限り、本ソフトウェアの納入日から30日間において、本ソフトウェアがマニュアル等に従って実質的に動作しない等の瑕疵が発見された場合には、弊社は当該ソフトウェアの瑕疵の修補、あるいは他の瑕疵のない本ソフトウェアとの交換等、弊社の判断に基づく対応を講じさせていただきます。
- 前項の対応は、弊社のお客様に対する本ソフトウェアにかかる保証の全てとし、法律上の瑕疵担保責任を含むその他一切の保証責任を負わないものとします。また、弊社は、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性については、いかなる保証も行わないものとします。
- 第1項の規定にかかわらず、本ソフトウェアの瑕疵が、お客様が他のアプリケーションソフトウェアをインストールして使用した結果生じた場合には、弊社はいかなる責任も負わないものとします。

第5条（賠償責任）

- 本ソフトウェアの使用が原因でお客様に生じた損害に対する弊社の負うべき賠償責任は、いかなる場合においても、当該ソフトウェアについて弊社が受領した対価の総額を超えないものとします。
- 弊社は、弊社が予想可能か否かにかかわらず、間接損害、結果的損失もしくは特別損害に対しては、いかなる責任も負わないものとします。これらの間接損害、特別損害等には、お客様のデータ喪失、それにより得られたはずの利益（逸失利益）の喪失を含むものとします。

第6条（制限行為）

- お客様は、本ソフトウェアが著作権法、その他工業所有権法に基づき保護されている著作物等であることを認識し、その権利を侵害する一切の行為を行わないものとします。
- お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、または逆コンパイルすることはできません。
- お客様は、本ソフトウェアの全部または一部を第三者に販売、頒布、貸与、譲渡等することはできません。

第7条（損害賠償・解除）

- 弊社は、お客様がこの契約書の条項に違反し、あるいは不正又は不当な行為を行った場合には、文書により相当の期間を定めてその是正を催告し、当該期間内に違反状態が解消されない場合には、この契約書を解除するとともに、これによって生じた損害の賠償をお客様に請求することができるものとします。
- 前項によりこの契約書が解除された場合には、お客様は本ソフトウェアの使用を直ちに中止し、本ソフトウェアが収録されたCD-ROMディスクを弊社に全て返却するとともに、弊社の指示に従い本ソフトウェアを全て再生不能な形で消去するものとします。

以上

本契約書、本ソフトウェアに関して不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

動作環境を確認する

Pentium プロセッサ 166 MHz 以上 (推奨 200 MHz 以上) を搭載した以下の OS が動作する PC/AT 互換 (DOS/V) 機

OS: Windows98、Windows98SE、Windows2000、WindowsME の日本語版

必要メモリ: 64 MB 以上 (推奨 96 MB 以上)

ハードディスク容量: 400MB 以上の空き容量

ディスク装置: インストール用 CD-ROM ドライブ

接続端子: RS-232C D-Sub 9pin コネクターが接続可能なシリアルポート

ディスプレイ: 解像度 800 × 600 (推奨 1024 × 768 以上) で発色数 16 bit (65,536 色) 以上表示可能なもの

ご注意:

推奨環境の全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。

ユーザー登録について

本製品のユーザー登録方法は、ホームページでの登録のみとなります。

ユーザー登録ホームページアドレス

下記アドレスにアクセスしていただき、必要事項をご記入のうえ、送信してください。

<http://www.pioneer.co.jp/car/pclink/>

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



警告

[異常時の処置]



プラグを抜く

万一、煙が出る・変なおいや音がる・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

万一、本機を落とした場合、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

[設置]



必ず行う

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



禁止

電源コード、ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したり、重いものを置いたりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出断線など)販売店に交換をご依頼ください。

[使用方法]



必ず行う

電源プラグは、根元まで差し込んでください。ゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



プラグを抜く

雷が鳴り出したら早めに電源プラグを抜いて、本機を使用しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

本機を分解したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、金属類や燃えやすいものなどが入ると火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



禁止

付属のACアダプター以外は使用しないでください。他のACアダプターを使用すると火災の原因となります。



警告 (つづき)

[使用環境]



水ぬれ禁止

本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。



禁止

表示された電源電圧 (交流 100ボルト 50/60 Hz) 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

本機を布団などでおおった状態で使用しないでください。熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

フロントパネルコネクターやシリアルコネクターに針金・ネックレス・ヘアピンなどの金属を接触させないでください。火災・けが・故障の原因となります。



注意

[設置および使用方法について]



禁止

ストーブのそばや高温な場所、引火性のガスが発生する場所、極端な低温環境、および湿気やほこりの多い場所で使用したり、保管したりしないでください。火災・けが・故障の原因となります。



プラグを抜く

安全のため、使用しないとき、お手入れのときは電源プラグをコンセントから抜いてください。発熱・火災・けがの原因となります。



接触禁止

フロントパネルコネクターには触れないでください。また、コネクターにゴミやほこりが付かないようにしてください。接触不良の原因となります。

[保守・点検について]

5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご依頼ください。内部にほこりがたままま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

目次

製品構成	8	フロントパネルを接続し、 通信する	24
本製品のおもな特長	8	パソコンと接続する	24
プログラムをインストールする	9	フロントパネルを取り付ける	25
「LinkKit」を削除する (アンインストール)	9	フロントパネルを取り外す	25
プログラムを起動する	10	フロントパネルに画像を書き込む	26
静止画を作成する	11	ポート番号を設定する	28
枠の位置やサイズを変更する	11	本ソフトのバージョンを確認する	28
動画を作成する	12	プログラムを終了する	29
静止画から		カーオーディオの画像を 購入時の状態に戻す	29
アニメーションを作成する	13	故障かな?と思ったら	30
作成するアニメーションを選ぶ	13	保証書とアフターサービス	31
スクロール表示のアニメーションを 作成する	14	おもな仕様	31
ワイプ表示のアニメーションを作成する	15		
弊社のホームページから			
画像をダウンロードする	16		
画像の変換方法を設定する	17		
簡単に画像の変換方法を設定する	17		
詳細に画像の変換方法を設定する	18		
画像を補正する	19		
作成した画像を保存する	20		
画像を編集する	20		
静止画に文字を入力する	20		
作成した動画やアニメーションの 編集をする	22		

本書に記載されているシステム名、商品名は、一般に各メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
この取扱説明書は、お客様がWindowsの基本操作に習熟していることを前提としています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

製品構成

本パッケージには、下記のものが入っていますので、不足しているものがないかどうかご確認をお願いいたします。

PCリンクキット本体
CD-ROM
ACアダプター
電源コード
RS-232C ケーブル
取扱説明書 (本書)
保証書
ご相談窓口・修理窓口のご案内

本製品のおもな特長

本製品に対応したカーオーディオの動画や静止画を、パソコンで作成・ダウンロード・保存することができます。また、作成・ダウンロードした画像の中から、好みの画像をカーオーディオに書き込み、カーオーディオ再生中に書き込んだ画像を表示させることができます。

書き換え可能な画像は、以下の3種類です。

ムービースクリーン (MOVIE)
レベルインジケーター (Indicator)
バックグラウンドスタイルピクチャー (BGP)

メモ：

バックグラウンドビジュアル (BGV) の作成・書き換えをすることはできません。

レベルインジケーターの作成はできません。リンクキットのWebサイトからのダウンロードのみになります。

ご注意：

本製品およびパソコンの不具合によりデータが破損または消去された場合、データの内容の保証についてはご容赦ください。

プログラムをインストールする

PC リンクキットは、CD-ROM から起動することはできません。

はじめにプログラムをハードディスクにインストールする必要があります。インストールを始める前に、他のプログラムを終了させてください。

1 付属のCD-ROM をセットする。

インストール画面が自動的に表示されます。

メモ：

インストール画面が表示されない場合、「スタート」をクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。名前ボックスに、CD-ROM ドライブのドライブ文字 (D の場合)、コロン (:)、円記号 (¥) の順に入力し、続けて「setup」と入力してください。(例えば、D:¥setup と入力します。)

2 内容を確認し、「次へ」をクリックする。

使用許諾契約が表示されます。(本マニュアルの2ページの内容と同様です。)

3 内容を確認し、「使用許諾契約の条項に同意します」を選び、「次へ」をクリックする。

4 インストール先を指定し、「次へ」をクリックする。

5 「インストール」をクリックして、インストールを開始する。

6 「完了」をクリックする。

以上でインストールは完了です。手順4でインストール先を特に指定しなかった場合、インストールが完了すると、「スタート」メニューの「プログラム」フォルダに「Pioneer」という名前で登録されます。

「LinkKit」を削除する (アンインストール)

「LinkKit」をパソコンから削除したい場合は、以下の方法でアンインストールを行います。

1 Windows の「コントロールパネル」を開く。

2 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックする。

3 「LinkKit」を選び、「追加と削除」をクリックする。

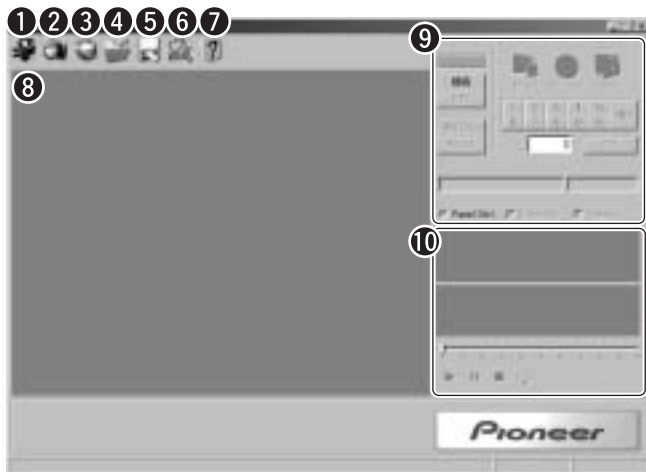
4 画面の指示に従って操作する。

以上でアンインストールは完了です。

プログラムを起動する

- 1 「スタート」 - 「プログラム」 - 「Pioneer」から「LinkKit」を選ぶ。

メインウィンドウが表示されます。



- 1 動画 (Movie) 作成： 動画の取り込みや静止画からのアニメーション作成など、動画を作成することができます。
- 2 静止画 (Snapshot) 作成： お好みの画像の一部を切り取り、静止画を作成することができます。
- 3 インターネットに接続： リンクキットのWebサイトに接続し、お好みの動画や静止画をダウンロードすることができます。
- 4 ファイルを開く： 作成した画像ファイルを開くことができます。
- 5 保存： 作成した画像を保存することができます。
- 6 オプション： 接続ポートの設定や本ソフトのバージョン確認をすることができます。
- 7 ヘルプ： 本ソフトのヘルプ (機能や操作の説明など) を開くことができます。
- 8 メインビュー： キャプチャー (取り込み) 可能な画像を選んだ場合、画像と枠が表示されます。
- 9 通信・効果パネル： 作成した画像の書き込み、画像の変換設定、または画像に効果をかけたりすることができます。「Panel Ctrl」、「Dithering」、「Effect」をクリックすると、画面が切り換わります。
- 10 プレビュー： キャプチャーした画像が表示されます。カラー画像が上側に、4階調画像が下側に表示されます。

静止画を作成する

お気に入りの画像から、静止画 (BGP: Background still picture) を作成することができます。

1 「静止画作成」をクリックする。

ダイアログボックスが表示されます。選択可能なファイルは、BMP (.bmp)、JPEG (.jpg、.jpeg)、およびPNG (.png) 形式のファイルです。

メモ：

選択可能な静止画ファイルのサイズは、JPEG では1.2 MB、BMP では12 MBまでです。

2 画像ファイルを選び、「開く」をクリックする。



① 枠： 取り込む範囲を設定することができます。

3 取り込む画像の位置とサイズを設定する。

枠の位置やサイズを変更する

位置を変更する

枠内でドラッグし、取り込みたい位置まで移動する。

サイズを変更する

枠上 (↔表示のところ) でドラッグし、お好みのサイズに変更する。

メモ：

メインビューで右クリックをすると、メニューが表示されます。このメニューには、次の機能があります。

「サイズをリセット」： 枠のサイズを初期設定に戻すことができます。

「位置をリセット」： 枠の位置を左上の位置に戻すことができます。

「アスペクト比補正」： 枠のアスペクト比 (縦横比) を最適に補正することができます。
(横を基準に、縦の長さをフロントパネルの表示素子の形状に合わせて補正します。)

メモ：

取り込んだ画像は、画像処理 (変換設定や補正) や文字入力を行うことができます。(画像を保存すると、画像処理のできないファイル形式になります。画像処理は、画像を保存する前に行ってください。)

動画を作成する

お気に入りの動画 (デジタルビデオカメラの動画など) から、カーオーディオの動画 (Movie) を作成することができます。

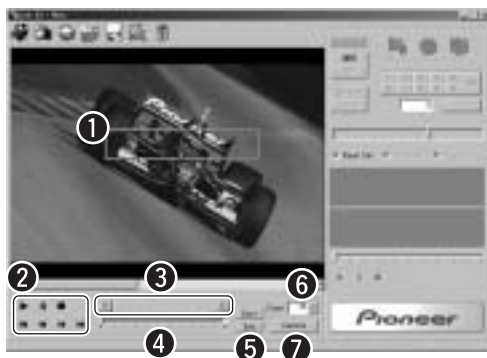
1 「動画作成」 をクリックする。

ダイアログボックスが表示されます。選択可能なファイルは、AVI (.avi) 形式のファイルです。(BMP (.bmp)、JPEG (.jpg、.jpeg)、および PNG (.png) 形式のファイルを選択した場合は、アニメーションの作成になります。)

メモ：

選択可能な動画ファイルは約10分のもので、10分を超える動画ファイルを選択した場合、正しく動作しないことがあります。

2 画像ファイルを選び、「開く」をクリックする。



- ① 枠： 取り込む範囲を設定することができます。(11ページの「枠の位置やサイズを変更する」を参照。)
- ② AVI操作ボタン： 選んだ動画ファイルの再生 (▶) ・一時停止 (⏸) ・停止 (■) ・早送り/早戻し (⏩/⏪) ・コマ送り/コマ戻し (⏮/⏭) をすることができます。
- ③ 「S」、「E」： 取り込み開始 (S) ・終了 (E) に設定している場面を見ることができます。スライダーに表示されるバーを動かして場面を切り換えることもできます。
- ④ スライダー： バーを動かすことで、開始・終了の場面を表示し、設定することができます。
- ⑤ 「Start」、「End」： スライダーで設定した開始・終了の場面を決定することができます。
- ⑥ カウントボックス： 設定した範囲で、実際に取り込む画像の枚数が表示されます。「▲」、「▼」をクリックして、取り込む枚数 (1 ~ 60) を設定することができます。(最大約4秒間)
- ⑦ 「Capture」： 設定した画像を取り込みます。

3 以下の順で、画像の取り込み設定をする。

1. 枠の位置とサイズを設定する。
2. 「S」をクリックし、スライダーで取り込み開始したい場面を表示する。
3. 「Start」をクリックし、取り込み開始場面を決定する。
4. 「E」をクリックし、スライダーで取り込み終了したい場面にする。
5. 「End」をクリックし、取り込み終了場面を決定する。

メモ：

「▶」で動画を再生し、取り込みを開始したい場面で「Start」を、終了したい場面で「End」をクリックすることでも、画像の取り込み設定をすることができます。

4 「Capture」をクリックし、画像を取り込む。

プレビューに取り込んだ画像が表示されます。

メモ：

61枚以上の画像取り込みをすることはできません。

プレビューで、取り込んだ画像を確認することができます。再生 (▶) ・一時停止 (⏸) ・停止 (■) ・繰り返し (🔄) で取り込んだ画像再生を操作することができます。

取り込んだ画像は、画像処理 (変換設定や補正) をすることができます。(画像を保存すると、画像処理のできないファイル形式になります。画像処理は、画像を保存する前に行ってください。)

静止画からアニメーションを作成する

静止画から「スクロール」と「ワイプ」の2種類のアニメーションを作成することができます。

「スクロール」は、静止画を上下左右に移動するように表示するアニメーションです。

「ワイプ」は、2つの画像がお互いの画像を塗りかえるように表示するアニメーションです。

作成するアニメーションを選ぶ

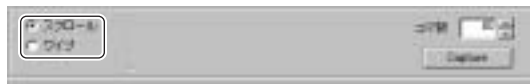
1 「動画作成」をクリックする。

ダイアログボックスが表示されます。選択可能なファイルは、BMP (.bmp)、JPEG (.jpg、.jpeg)、およびPNG (.png)形式のファイルです。(AVI (.avi)形式のファイルを選択した場合は、動画 (Movie) の作成になります。)

2 画像ファイルを選び、「開く」をクリックする。

3 「スクロール」か「ワイプ」をクリックし、作成するアニメーションの種類を選ぶ。

作成したいアニメーションの種類を選ぶことができます。



スクロール表示のアニメーションを作成する

「作成するアニメーションを選ぶ」の手順 **1** ~ **3** で、「スクロール」を選びます。



- 1** 始点枠 (Start) : 取り込みを開始する画像位置を設定することができます。(11ページの「枠の位置やサイズを変更する」を参照。)
- 2** 終点枠 (End) : 取り込みを終了する画像位置を設定することができます。(11ページの「枠の位置やサイズを変更する」を参照。)
- 3** コマ数 : 始点枠と終点枠の間で、取り込む画像のコマ数が表示されます。「▲」、「▼」をクリックして、取り込むコマ数 (1 ~ 60) を設定することができます。(最大約4秒間)
- 4** 「Capture」 : 設定した画像を取り込みます。

メモ :

メインビューで右クリックすると、メニューが表示されます。スクロール表示のアニメーション作成時は、次の機能があります。

「スタート画面を上へ」 : 始点枠を終点枠の上にすることができます。(2つの枠が重なっているところをクリックしたときだけ操作することができます。)

「エンド画面を上へ」 : 終点枠を始点枠の上にすることができます。(2つの枠が重なっているところをクリックしたときだけ操作することができます。)

「スタート画面サイズをリセット」 : 始点枠のサイズを初期設定に戻すことができます。

「エンド画面サイズをリセット」 : 終点枠のサイズを初期設定に戻すことができます。

「エンド画面をスタート画面に重ねる」 : 終点枠を始点枠に重ねることができます。

「アスペクト比補正」 : 枠のアスペクト比 (縦横比) を最適に補正することができます。(横を基準に、縦の長さをフロントパネルの表示素子の形状に合わせて補正します。)

始点枠と終点枠のサイズを異なる大きさに設定することで、画像が近づいたり、遠ざかったりするようなアニメーションを作成することもできます。

1 以下の順で、画像の取り込み設定をする。

1. 始点枠の位置とサイズを設定する。
2. 終点枠の位置とサイズを設定する。
3. コマ数を設定する。

2 「Capture」をクリックし、画像を取り込む。

プレビューに取り込んだ画像が表示されます。

メモ :

プレビューで、取り込んだ画像を確認することができます。再生 (▶) ・一時停止 (⏸) ・停止 (■) ・繰り返し (🔄) で取り込んだ画像再生を操作することができます。

取り込んだ画像は、画像処理 (変換設定や補正) をすることができます。(画像を保存すると、画像処理のできないファイル形式になります。画像処理は、画像を保存する前に行ってください。)

ワイプ表示のアニメーションを作成する

「作成するアニメーションを選ぶ」の手順 **1** ~ **3** で、「ワイプ」を選びます。
開いている画像が自動的に「前景」に設定されます。背景の画像は、「背景を表示」をクリックしてから画像ファイルを開くことで設定することができます。



- 1** 枠： 前景・背景でそれぞれ取り込む画像位置を設定することができます。(11ページの「枠の位置やサイズを変更する」を参照。)
- 2** 前景・背景切り換えボタン： メインビューに表示する画像を、前景 (最初に表示される画像) と背景 (後から表示される画像) で切り換えることができます。
- 3** 方向設定ボタン： 画像をワイプする (塗りかえる) 方向を設定することができます。
- 4** コマ数： 前景画像と背景画像をワイプするときのコマ数が表示されます。「▲」、「▼」をクリックして、取り込むコマ数 (1 ~ 60) を設定することができます。(最大約4秒間)
- 5** 「Capture」： 設定した画像を取り込みます。

1 以下の順で、画像の取り込み設定をする。

1. 前景の枠の位置とサイズを設定する。
2. 「背景を表示」をクリックする。
3. 「動画作成」をクリックし、背景に設定したい画像ファイルを選ぶ。
4. 背景の枠の位置とサイズを設定する。
5. コマ数とワイプ方向を設定する。

2 「Capture」をクリックし、画像を取り込む。

プレビューに取り込んだ画像が表示されます。

メモ：

プレビューで、取り込んだ画像を確認することができます。再生 (▶) ・一時停止 (⏸) ・停止 (■) ・繰り返し (🔄) で取り込んだ画像再生を操作することができます。

背景画像を設定しないと、背景画像は真っ黒に設定されます。

取り込んだ画像は、画像処理 (変換設定や補正) をすることができます。(画像を保存すると、画像処理のできないファイル形式になります。画像処理は、画像を保存する前に行ってください。)

弊社のホームページから画像をダウンロードする

リンクキットのWebサイトから、好みの画像データをダウンロードすることができます。

メモ：

リンクキットのWebサイトからダウンロードした画像を編集・加工することはできません。

1 「インターネットに接続 」をクリックする。

ブラウザを起動し、リンクキットのWebサイトに自動的に接続します。

メモ：

インターネットを接続できない環境のパソコンでは、接続することはできません。

2 「WHAT'S NEW」または「DOWNLOAD」をクリックする。

最新の画像は、「WHAT'S NEW」に、それ以前の画像は、「DOWNLOAD」に用意してあります。

3 ダウンロードしたい画像の種類をクリックする。

「MOVIES」、「LEVEL INDICATOR」または「BACKGROUND PICTURE」の中から選ぶことができます。

4 ダウンロードしたい画像の「DOWNLOAD」をクリックする。

ダイアログボックスが表示されます。

メモ：

MOVIEとLEVEL INDICATORでは、「PREVIEW」をクリックすると、画像を確認することができます。

5 内容の確認を行い、「OK」をクリックする。

6 ファイル名と保存先を指定し、「保存」をクリックする。

保存したファイルには、「.lkd」の拡張子が付きます。

画像の変換方法を設定する

取り込んだ画像に画像処理 (ディザリング) することができます。

ディザリングをONにすると、ディザリングで簡単に画像処理をすることができます。また、ディザリングをOFFにした場合、ディザリング処理をする代わりに、RGBの重み調整と4階調しきい値調整で詳細な画像処理を設定することができます。

メモ：

一度保存したファイルには、画像処理を行うことはできません。

簡単に画像の変換方法を設定する

ディザリングやハーフトーンは、元の画像と色数や解像度が異なるディスプレイ上で、元の画像を再現する場合に効果的があり、多くの場合、画像をよりきれいに表示することができます。

メモ：

動画にディザリングを行うと、汚く見えることがあります。

1 「Dithering」をクリックする。



ディザリング画面が表示されます。

2 「ON」をクリックする。

ディザリング選択画面に切り換わります。

3 好みのディザリングを選ぶ。

選んだディザリングの効果が、プレビューに反映されます。



① ディザリング1：再現性に優れていますが、単調な画像には不向きです。

② ディザリング2：ディザリング1と3の中間的な特性です。

③ ディザリング3：暗い画像や色が単調な画像に効果を発揮します。

④ ハーフトーン：ディザリングよりも粒子が目立ちませんが、グラデーションがある画像には不向きです。

詳細に画像の変換方法を設定する

RGB 重み調整と4階調しきい値調整で、よりお好みに合った画像変換をすることができます。

1 「Dithering」をクリックする。



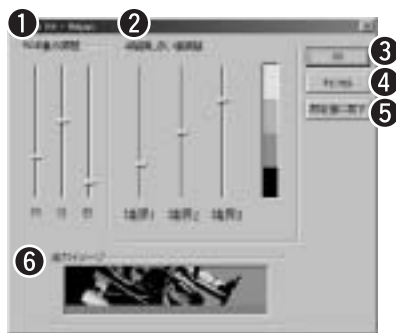
ディザリング画面が表示されます。

2 「OFF」をクリックする。

3 「詳細」をクリックする。

画像変換詳細設定画面が開きます。

4 変換方法を詳細に設定する。



- ① RGB重み調整： R(赤)・G(緑)・B(青)の重みを調整し、画像変換で見づらくなった色や強調したい色を調節することができます。
- ② 4階調しきい値調整： 4階調に変換するときの各階調の範囲をしきい値で設定することができます。元画像から強調したい階調の範囲を広げて変換を行うことができます。
- ③ OK： 調整内容を決定し、画像変換詳細設定画面を閉じます。
- ④ キャンセル： 調整内容を無効にし、画像変換詳細設定画面を閉じます。
- ⑤ 既定値に戻す： 調整前の状態に戻すことができます。
- ⑥ 出力イメージ： 調整したときの出力イメージが表示されます。

5 設定が終了したら、「OK」をクリックする。

画像に設定した内容が反映され、画像変換詳細設定画面が閉まります。

画像を補正する

取り込んだ画像のコントラスト(明暗)や明度(明るさ)を補正したり、ネガ・ポジ反転など画像に効果をかけることができます。

メモ：

一度保存したファイルに画像の補正をすることはできません。

1 「Effect」をクリックする。



エフェクト画面が表示されます。

2 効果を調整する。



- 1 コントラスト補正：画像のコントラストを補正することができます。スライダーを動かして補正レベルを調整することができます。
- 2 明度補正：画像の明度(画像全体の明るさ)を補正することができます。スライダーを動かして補正レベルを調整することができます。
- 3 ネガ・ポジ反転：画像のネガ・ポジを反転することができます。
- 4 輪郭強調：輪郭の強弱を補正することができます。スライダーを動かして補正レベルを調整することができます。
- 5 ノイズ除去：画像のノイズを除去することができます。スライダーを右に動かすと、段階的にノイズを除去することができます。
- 6 自動最適化：画像がより鮮明に見えるように自動的に調整することができます。
- 7 スライダー：コントラスト補正や明度補正、輪郭強調、ノイズ除去の調整をすることができます。右側に動かすと補正レベルが強くなり、左側に動かすと補正レベルが弱くなります。
- 8 確定：補正した効果を確定することができます。
- 9 Undo：直前に確定した効果を取り消すことができます。
- 10 標準に戻す：補正した効果を全て無効にし、初期の画像に戻すことができます。

3 以下の順で、調整した効果を確定する。

1. 調整する項目を選び、調整する。
2. 選んだ項目の調整が終了したら、「確定」をクリックする。

メモ：

各項目を調整するごとに、「確定」をクリックしてください。「確定」をクリックせずに他の項目を選べると、前の項目での調整内容は無効になります。

作成した画像を保存する

作成した画像を保存することができます。

ご注意：

画像を保存すると、画像処理（変換設定や補正）することができなくなります。（画像処理は、画像を保存する前に行ってください。）

1 「保存」をクリックする。

ダイアログボックスが表示されます。

2 ファイル名と保存先を指定し、「保存」をクリックする。

保存したファイルには、「.lkd」の拡張子が付きます。

メモ：

保存したデータは、万が一に備えバックアップを取っておくことをおすすめします。

画像を編集する

静止画では、画像に文字を入力することができます。また、動画やアニメーションでは、フレームの追加や削除、並べ換えといった操作で、より好みの画像に編集することができます。

メモ：

リンクキットのWebサイトからダウンロードした画像を編集することはできません。

静止画に文字を入力する

作成した静止画に文字を入力し、画像上に文字を表示することができます。

メモ：

既に文字を入力した状態で保存してある画像の文字を編集することはできません。

1 「ファイルを開く」をクリックする。

ダイアログボックスが表示されます。

選択可能なファイルは、静止画です。（動画やアニメーションを選択した場合は、動画編集になります。）

2 画像ファイルを選び、「開く」をクリックする。

プレビューに選んだ画像が表示されます。



3 「文字書込み」をクリックする。

文字入力ウィンドウが開きます。

4 文字を入力・編集する。



- ① プレビュー画像： 入力した文字をドラッグで動かし、位置を設定することができます。また、ダブルクリックで元の位置に戻すことができます。
- ② 回転： スライダーを動かすことにより、文字列の左上を中心に、入力した文字を反時計回りに360度回転させることができます。
- ③ 文字入力ボックス： ここに入力した文字が、プレビュー画像に表示されます。
- ④ クリア： 入力した文字を全て消去することができます。
- ⑤ OK： 入力した文字を決定し、文字入力ウィンドウを閉じます。
- ⑥ キャンセル： 文字入力を無効にし、文字入力ウィンドウを閉じます。
- ⑦ フォント： 文字のフォントを選ぶことができます。
- ⑧ 種類： 選んだフォントの種類 (欧文、シンボルなど) が表示されます。
- ⑨ スタイル： 太字や斜体など文字のスタイルを設定することができます。
- ⑩ サイズ： 文字の大きさを設定することができます。
- ⑪ 文字色： 文字色を4階調色の中から選ぶことができます。
- ⑫ 背景色： 文字の背景色を4階調色と透明の中から選ぶことができます。
- ⑬ 修飾： 下線や取り消し線など文字飾りをすることができます。

5 文字の入力が終了したら、「OK」をクリックする。

文字入力ウィンドウが閉まり、プレビュー画像に入力した文字が表示されます。

6 ファイルを保存する。

「作成した画像を保存する」に従って、操作してください。

作成した動画やアニメーションの編集をする

作成した動画やアニメーションでは、フレームの追加や削除、並び換えといった作業を行って、よりお好みの画像に編集することができます。

1 「ファイルを開く」をクリックする。

ダイアログボックスが表示されます。

選択可能な画像ファイルは、動画やアニメーションです。(静止画を選択した場合は、文字入力になります。)

2 画像ファイルを選び、「開く」をクリックする。

プレビューに、選んだ画像が表示されます。



3 「動画編集」をクリックする。

動画編集ウィンドウが開きます。

4 編集するフレームを選ぶ。

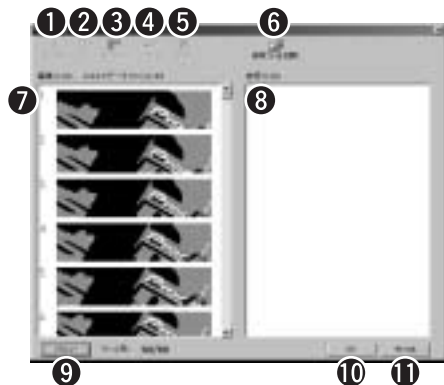
クリックして選ぶ。

編集したいフレームをクリックします。複数のフレームを選びたい場合、編集したい範囲の最初か最後のフレームをクリックし、もう一方のフレームを「SHIFT」を押しながらクリックします。

ドラッグして選ぶ。

編集したいフレーム全体をドラッグして囲みます。複数のフレームを選びたい場合、編集したい範囲のフレームをドラッグして囲みます。

5 選んだフレームを編集する。



- ① 切り取り： 選んだフレームを切り取ることができます。
- ② コピー： 選んだフレームをコピーすることができます。
- ③ 貼り付け： 切り取ったり、コピーしたフレームを貼り付けることができます。貼り付け位置は、選んだフレームの前になります。(フレームとフレームの間でクリックすると、そのフレーム間に貼り付けることもできます。)
- ④ 1つ戻る： 直前に行った作業を取り消して、1つ前の状態に戻すことができます。
- ⑤ 削除： 選んだフレームを削除することができます。
- ⑥ 参照ファイルを開く： 編集中の画像に追加したいフレームのあるファイルを、参照として開くことができます。(リンクキットのWebサイトからダウンロードした画像を参照ファイルとして開くことはできません。)
- ⑦ 編集ウィンドウ： 編集しているファイルの全てのフレームが表示されます。
- ⑧ 参照ウィンドウ： 参照ファイルの全てのフレームが表示されます。また、参照ファイルのフレームは、編集ファイルにコピーすることができます。
- ⑨ プレビュー： 編集した画像を確認することができます。
- ⑩ OK： 編集内容を決定し、動画編集ウィンドウを閉じます。
- ⑪ キャンセル： 編集内容を無効にし、動画編集ウィンドウを閉じます。

メモ：

選んだフレームを移動したい位置までドラッグすることで、フレームを移動することもできます。保存できるフレーム数は60フレームまでです。それ以上のフレームは、保存時に切り捨てられます。参照ファイルを編集することはできません。編集ウィンドウで右クリックすると、メニューが表示されます。このメニューでも「1つ戻る」、「切り取り」、「コピー」、「貼り付け」、「削除」を行うことができます。

6 編集が終わったら、「OK」をクリックする。

編集内容が反映され、動画編集ウィンドウが閉まります。

7 ファイルを保存する。

「作成した画像を保存する」に従って、操作してください。

フロントパネルを接続し、通信する

作成した画像やリンクキットのWebサイトからダウンロードした画像を、フロントパネルのメモリーに書き込んだり、フロントパネルにメモリーされている画像を確認することができます。書き込んだ画像は、カーオーディオ再生中に表示することができます。(表示方法は、カーオーディオの取扱説明書をご覧ください。)

メモ：

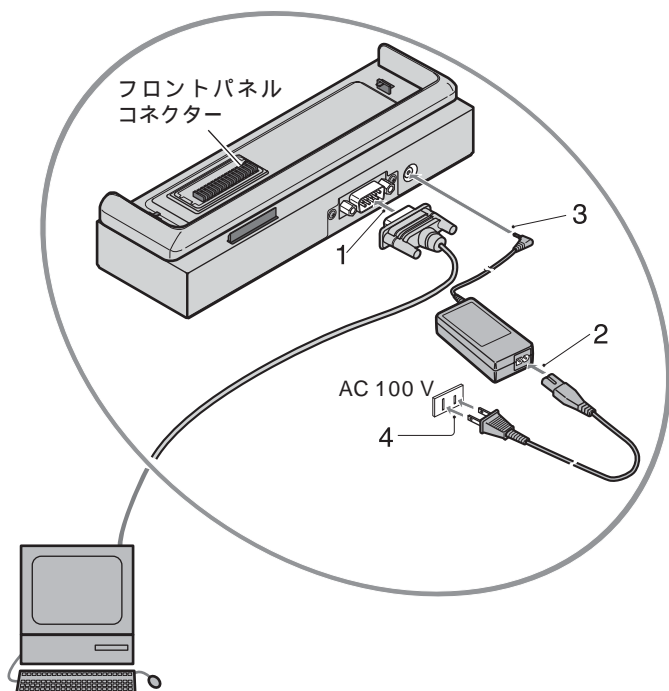
本機にフロントパネルとパソコンが正しく接続されていないと、画像を書き込むことはできません。

画像転送時に、パソコンの電源が切れてしまうことのないように、パソコンをバッテリーで使用することは避けてください。

パソコンと接続する

本機とパソコンを付属のケーブルで接続し、本機に電源コードとACアダプターを接続します。

1 1～4の順で接続する。



ご注意：

フロントパネルコネクタには触れないでください。また、フロントパネルコネクタにゴミやほこりが付かないようにしてください。接触不良の原因となります。

メモ：

ACアダプターの電源コード接続端子と電源コードの形状が異なっておりますが、実使用上問題ありませんので、そのまま接続してください。

本機を使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

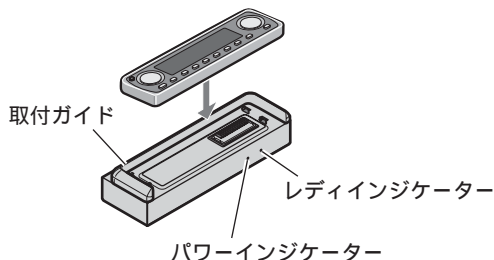
本機の接続は、必ずパソコンの電源を切った状態で行ってください。

フロントパネルを取り付ける

本機にフロントパネルを取り付けます。

1 取付ガイドに合わせてフロントパネルを取り付ける。

本機とフロントパネルのコネクターの位置を合わせ、真上から“カチッ”と音がするまではめ込み、しっかりと固定します。フロントパネルが正しく取り付けられると、レディインジケーターが点灯します。



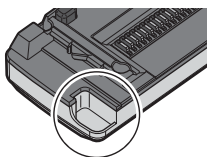
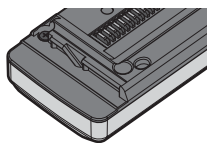
ご注意：

フロントパネルをスライドさせて取り付けると、本機のフロントパネルコネクターを破損する恐れがあります。フロントパネルは、必ず真上から取り付けてください。

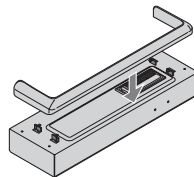
メモ：

背面に切り込みがあるフロントパネルでは、取付ガイドの向きを変更する必要があります。この場合、取付ガイドを一度上に引き外し、下のイラストの向きに取り付け直してください。

フロントパネルの見分けかた

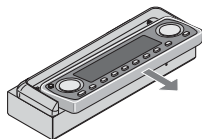


取付ガイドの付けかえかた



フロントパネルを取り外す

1 フロントパネルをスライドして取り外す。



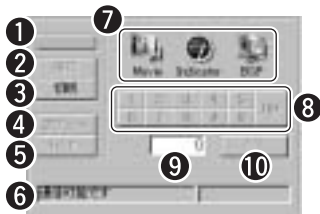
フロントパネルに画像を書き込む

1 「Panel Ctrl」をクリックする。



フロントパネル通信画面が表示されます。

2 「接続」をクリックする。



- ① ランプ：フロントパネルとの通信が正しく行われている場合、緑色に点灯します。また、接続中は点滅します。
- ② 接続：フロントパネルとの通信を開始します。
- ③ 切断：フロントパネルとの通信を終了します。
- ④ 書き込み：選んだ画像番号に開いている画像データを書き込みます。(画像種類と画像番号が正しく選ばれていないと、書き込むことはできません。)
- ⑤ キャンセル：画像の書き込みを中止します。(動画の場合、キャンセルするまでに書き込みが終了しているフレームは、フロントパネルのメモリーに記憶されます。)
- ⑥ 通信情報：フロントパネルとの通信状況が表示されます。
- ⑦ 画像種類の選択：表示や書き込みする画像の種類 (Movie、Indicator、BGP) を選ぶことができます。(画像を書き込む場合、開いている画像データと同じ画像種類を選ばないと、書き込むことはできません。)
- ⑧ 番号指定ボタン：表示や書き込みする画像番号を指定することができます。10以上の番号を指定する場合、「10+」をクリックしてから、1の位の番号を指定します。選んだ画像の種類によって、使用できる数は変わります。また、青い数字が書き換え可能な画像番号です。(黒い数字は表示専用のため、データを書き換えることはできません。)
- ⑨ 番号表示ボックス：現在選択している画像番号が表示されます。
- ⑩ クリア：番号表示ボックスに表示されている画像番号を取り消すことができます。

メモ：

Indicator は、当社のホームページからダウンロードした Indicator 画像のみ書き込むことができます。(Indicator 画像を本ソフトで作成することはできません。)

動画の場合、書き込み時間は5～10分くらいかかります。また、プレビュー再生をしていると更に書き込み時間が長くなるので、プレビュー再生は停止させてから書き込んでください。

3 「ファイルを開く」をクリックし、フロントパネルに書き込みたい画像を選ぶ。

プレビューに画像が表示されます。

メモ：

フロントパネルの画像を確認するだけの場合、画像を選ぶ必要はありません。

作成中の画像 (保存する前の画像) でもフロントパネルへの書き込みは可能ですが、作成中の画像を直接フロントパネルに書き込んでいるときに通信エラーなどが起こると、作成中の画像データが失われてしまいます。画像の書き込みは、一度データを保存してから行うことをおすすめします。

4 以下の順で、書き換える画像を選ぶ。

選んだ画像は、本機に取り付けたフロントパネルに表示されます。

1. 書き換えたい画像の種類を選ぶ。

「Movie」または「Indicator」、「BGP」の中から、手順3で選んだ画像と同じ画像種類を選びます。

Movie：カーオーディオのMOVIEボタンの画像に対応しています。

Indicator：カーオーディオのS/Aボタンの画像に対応しています。

BGP：カーオーディオのBGPボタンの画像に対応しています。

メモ：

選んだ画像データと同じ画像種類を選ばないと、「書き込み」がグレー表示のままで書き込むことができません。

2. 書き換えたい画像番号を選ぶ。

番号指定ボタンで書き換えたい画像番号を指定します。

10以上の番号を指定する場合、「10+」をクリックしてから、1の位の番号を指定します。

メモ：

選んだ画像の種類によって、使用できる数は変わります。また、青い数字が書き換え可能な画像番号です。(黒い数字は表示専用のため、データを書き換えることはできません。)

接続した機種が対応できていない番号指定ボタンは、グレーで表示されます。また、その番号への書き込みはできません。

5 「書き込み」をクリックする。

ダイアログボックスが表示されます。

ご注意：

画像の書き込みを行うと、新しい画像が前の画像を上書きします。このため、前の画像は消去されます。

6 「OK」をクリックする。

フロントパネルに、選んだ画像データの書き込みが開始されます。

ご注意：

フロントパネルの接続中に、インターネットへの接続やプレビューなどのアプリケーションの操作を行うと、通信が遅くなったり、通信エラーとなることがあります。

7 「切断」をクリックする。

全ての作業が終了したら、必ず「切断」をクリックしてフロントパネルとの通信を終了してください。

ポート番号を設定する

接続したパソコンのシリアルポートに合わせて設定することができます。

- 1 「オプション 」をクリックする。

オプション画面が表示されます。

- 2 「ポート設定」をクリックする。

- 3 シリアルポートの番号を選ぶ。



本ソフトのバージョンを確認する

本ソフトのバージョンを確認することができます。

- 1 「オプション 」をクリックする。

オプション画面が表示されます。

- 2 「バージョン情報」をクリックする。



プログラムを終了する

- 1 画面右上の「閉じる 」をクリックする。



プログラムが終了し、ウィンドウが閉まります。

カーオーディオの画像を購入時の状態に戻す

書き換えたカーオーディオの画像をご購入時の画像に戻すことができます。

- 1 「ファイルを開く 」をクリックする。

ダイアログボックスが表示されます。

- 2 「Pioneer」 - 「LinkKit」 - 「Sample」を選ぶ。

インストール時に、インストール先を特に指定しなかった場合、「Pioneer」フォルダは、「スタート」メニューの「プログラム」フォルダ内にあります。

- 3 画像ファイルを選び、「開く」をクリックする。

プレビューに選んだ画像が表示されます。

- 4 選んだ画像をフロントパネルに書き込む。

「フロントパネルを接続し、通信する」に従って、操作してください。

故障かな？と思ったら

共通

症状	処置
フロントパネルとの通信が途中で切れた。	フロントパネルを一度外して、取り付け直してください。(25ページ参照)
本アプリケーションが動作しなくなった。	アプリケーションを一度終了し、立ち上げ直してください。

アニメーション作成

症状	処置
ワイプ表示のアニメーションを作成すると真っ黒な画面が表示される。	背景の画像を選んでください。背景の画像を選んでいないと、背景として真っ黒な画面が設定されます。

動画編集

症状	処置
参照ファイルが開けない。	ファイル形式がLKD (.lkd) の動画ファイルを選んでください。また、ダイアログボックスの右下に [Locked] が表示されるファイルは、参照ファイルとして開くことはできません。
61枚目以降のフレームの背景が黒くなる。	動画編集中は、作業領域用に100枚まで画像を管理することができますようになっていますが、保存できるのは先頭の60枚目までです。編集終了時には、フレーム数を60枚以内にしてください。
動画編集では100枚まで追加できるのに、60枚を超えた部分が保存できない。	編集中の画像が60枚を超えていると、61枚目以降はプレビュー再生することはできません。
プレビュー再生が、画像の途中で終了してしまう。	

通信

症状	処置
フロントパネルと通信できない。	本機の電源プラグをコンセントに差し込んでください。(24ページ参照)
	本機とパソコンを付属のケーブルで正しく接続してください。(24ページ参照)
	フロントパネルを一度外して、取り付け直してください。(25ページ参照)
	付属のケーブルを接続しているパソコンのポート番号にリンクキットの設定を合わせてください。(28ページ参照)

保証書とアフターサービス

おもな仕様

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

本体

形式：	PCリンクキット
電源：	DC 10 V
消費電力 (フロントパネル接続時)：	3 W
消費電力 (フロントパネル未接続時)：	1 W
質量：	0.30 kg
外形寸法 (突起部含まず)：	190 (W) × 43 (H) × 59 (D) mm

ACアダプター部

電源：	AC 100 V ~ 240 V、50/60Hz
定格：	40 ~ 55 VA
定格出力：	DC 10 V
消費電力：	0.6 W
質量：	0.15 kg
外形寸法：	98 (W) × 26 (H) × 54 (D) mm

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ/カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 **0070-800-8181-11**

カタログのご請求窓口

 **0070-800-8181-33**

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2001

< KMMZF/01D00000 > < CZR3220-A >